

# 第657回建設技術講習会の概要



復興支援道路 相馬福島道路「桑折高架橋（仮称）」建設工事

## 近年の災害を踏まえ変化する事業制度、防災・減災対策！

○開催日：令和元年10月30日（水）～11月1日（金）

○開催場所：福島県福島市

○テーマ：災害に強い安全な国土づくり

### ○主な講演内容

- ・全国で重要インフラの防災対応等が進む！「国土強靱化」を解説！
- ・近年の災害を踏まえ変化する事業制度、防災・減災対策！「頻発化・激甚化する水災害への備え」
- ・大地震が発生したとき、何をすべきか！被災地職員が実体験を語る！（福島県・熊本県）

### ○現場研修

- ・早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）！「相馬福島道路」
- ・プレキャスト二次製品を活用し、工期を短縮！「松川浦漁港海岸災害復旧工事」
- ・東日本大震災災害復旧事業代行法で県が初めて実施！「大浜地区海岸公共災害復旧事業」
- ・無人航空機、災害対応ロボット等の一大研究開発拠点！「福島ロボットテストフィールド」

○交流会（参加予定講師） ※今後予定が変更する場合があります

- ・国土交通省 森久保講師、山崎講師、
- ・熊本県 谷水講師
- ・東北地整 小浪講師

全建発第 1 ～ 1 9 6 号  
令和元年 9 月 1 0 日

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和 印省略

## 第 6 5 7 回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約 6 万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の貫徹に向けた取り組み、AI やロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第 6 5 7 回建設技術講習会では、品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向、土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、公共建築工事における工事積算基準と最近の動向、i-Construction の貫徹に向けた取り組みと技術基準の新設、積算基準の改定、ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和

印省略

## 第657回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、令和元年10月30日(水)～11月1日(金)、福島市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、国土強靱化に向けた防災意識社会への転換、災害時における体制の充実強化（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組み（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体の取り組み事例）、近年の大規模地震や豪雨災害における被害と復旧・復興への取り組み、災害時におけるICTの活用による初動対応の効率化（被害の情報収集、復旧作業など）について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は福島県・福島市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,740円	13,648円	13,648円	13,648円
福島県内の国・県に勤務	13,648円	2,037円	2,037円*2	—
福島県内の市町村に勤務	2,037円	0円	—	—
東北地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,740円	2,037円	—	—
30歳未満	18,740円	2,037円	—	—
学生	0円	—	—	—

\*1政令市職員は除く、\*2特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格（2,037円）で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現場研修料：7,600円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。  
※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F  
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142  
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ  
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「657」をつけ加えて下さい。  
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：令和元年10月11日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	令和元年10月18日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	令和元年10月25日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8単位/3.5単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

## 第657回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）日程 ～国土強靱化の進化と激甚化する自然災害と巨大地震へ向けた 防災・減災対策について最新の施策及び取り組みについて学ぶ～

- ・ 国土強靱化に向けた防災意識社会への転換
- ・ 災害時における体制の充実強化（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）
- ・ 自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組み（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体の取り組み事例）
- ・ 近年の大規模地震や豪雨災害における被害と復旧・復興への取り組み
- ・ 災害時におけるICTの活用による初動対応の効率化（被害の情報収集、復旧作業など）

会場 …… 福島県教育会館（大ホール）  
〒960-8534 福島市上浜町10-38 TEL024-523-0206(代)

(1日目)	開場11:40	令和元年10月30日(水)	(敬称略)
12:40 } 13:00	あいさつ	福島県知事 福島市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	内堀 雅雄 木幡 浩宏 泊 宏
13:00 } 14:00	総合的防災対策の構築にむけて	東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授	田中 淳
14:10 } 15:10	国土強靱化に向けた取り組み	内閣府内閣官房国土強靱化推進室 企画官	松浦 直
15:20 } 16:20	【地元自治体の取り組み】 東日本大震災からの復旧・復興	福島県土木部土木企画課 主幹	中村 一彦
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞（17:30～19:00(予定)）		ザ・セレクトン福島 本館3階「吾妻」 TEL024-531-1111(代)	
(2日目)	開場 9:00	10月31日(木)	(敬称略)
9:40 } 10:40	頻発化・激甚化する水災害への備え	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	森久保 司
10:50 } 11:50	大規模自然災害に対する国土交通省の取り組みについて	国土交通省水管理・国土保全局防災課 課長補佐	山崎 航
13:00 } 13:20	【地域事業の紹介①】 復興支援道路 相馬福島道路 建設事業について	国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所 所長	小浪 尊宏
13:20 } 13:40	【地域事業の紹介②】 松川浦漁港海岸及び大浜地区海岸の災害復旧事業について	福島県土木部河川整備課 主幹	芳賀 英幸
13:40 } 14:00	【地域事業の紹介③】 福島ロボットテストフィールドについて	福島県商工労働部ロボット産業推進室 主幹	大竹 和彦
14:10 } 15:10	熊本地震で被災した公共土木施設の復旧について ～初動から現状まで～	熊本県土木部河川港湾局河川課 審議員（防災担当）	谷水 秀行
15:20 } 16:20	国土交通省の災害初動対応について ～TEC-FORCEの取り組み～	国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害対策室 課長補佐	天野 聡
16:20 }	閉会のあいさつ	福島県土木部 次長	小川 辰壽
(3日目)	集合 7:40～	11月1日(金)	【現場研修】

### JR福島駅西口(8:10)出発

- 復興支援道路 相馬福島道路「<sup>こおり</sup>桑折高架橋（仮称）」建設工事（下車説明）
- 松川浦漁港海岸災害復旧工事[H29年全建賞]（下車説明） → 大浜地区海岸公共災害復旧事業[H30年全建賞]（下車説明）
- 昼食（南相馬市内） → 福島ロボットテストフィールド（下車説明） → JR福島駅（16:40）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。  
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建：8単位/3.5単位、CPDS：(未定)



## 第657回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 復興支援道路 相馬福島道路「桑折高架橋(仮称)」建設工事 …………… 桑折町松原地先

復興支援道路は、東日本対震災復興構想会議の提案を受け、整備を進める路線であり、その内、相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの高規格道路です。

相馬福島道路の霊山～福島間は、令和2年度(一部区間を除く)の開通に向けて工事を進めています。

当該道路における「桑折高架橋(仮称)」(橋長1,218m)は、相馬福島道路で計画されている最長の橋梁で、JR東北新幹線と東北本線を跨いで架かる高架橋となっています。



### 2. 松川浦漁港海岸災害復旧事業 [H29年度全建賞] …………… 相馬市尾浜大洲地先

東日本大震災の地震及び津波により被災した海岸堤防と兼用工作物となる市道を県の代行工事として合わせて復旧した事業です。代行工事としたことで市道復旧が円滑に進んだ点、探査船調査で障害物の位置データを把握し障害物が確実に撤去された点、松川浦漁港からの浚渫土を築堤盛土材料として利用し費用縮減が図られた点、プレキャスト製品を使用し生コン供給量不足や職人確保の問題を乗り越え工期が短縮された点、海苔の養殖やアサリ漁が行われる松川浦を保全し地域産業の場が保全された点、観光面に貢献している点が評価された事業です。



### 3. 大浜地区海岸公共災害復旧事業 [H30年度全建賞] …………… 相馬市尾浜大浜地区

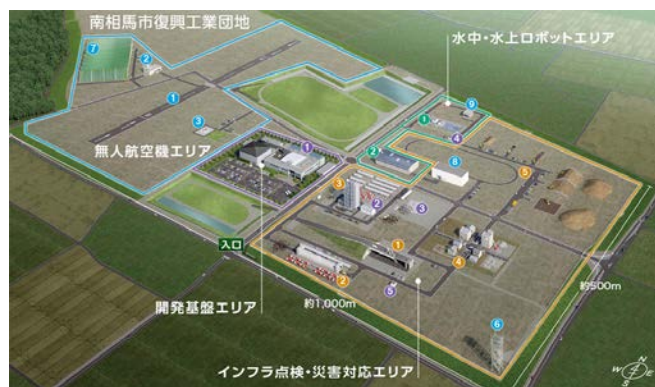
東日本大震災の大津波により壊滅した景勝地松川浦前面の海岸堤防についての災害復旧事業。海岸堤防のすぐ背後を併走する市道の復旧を海岸堤防と一体構造として設計・施工する必要があったことから、東日本大震災災害復旧事業代行法に基づき、県が市事業を代行した初めてのケースであり、震災直後の資材やマンパワーが不足する中、県内最大規模の災害復旧事業を完成させた点が評価された事業です。



### 4. 福島ロボットテストフィールド …………… 南相馬市原町区萱浜

福島イノベーション・コースト構想に基づき整備する「福島ロボットテストフィールド」は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象に、実際の使用環境を拠点内で再現しながら研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行うことができる、世界に類を見ない一大研究開発拠点です。

本拠点は、南相馬市・復興工業団地内に「無人航空機エリア」、「インフラ点検・災害対応エリア」、「水中・水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設けるとともに、浪江町・棚塩産業団地内に長距離飛行試験のための滑走路を整備する計画であり、2019年度末全面開所を予定しています。



## 第657回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には福島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：名鉄観光サービス(株) 新宿支店 TEL:03-3343-0631 FAX:03-3348-2934

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-19-8 (新東京ビル6階) 「全建担当デスク」迄  
申込締切後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

令和元年10月29日(火)、30日(水)、31日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルサンキョウ福島 福島市大町7-11 TEL024-525-2211	シングル	50名	8,800円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、名鉄観光サービス(株) 新宿支店より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。





## 第657回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

**日時**：令和元年10月30日(水) 17:30～19:00(予定)  
(第657回建設技術講習会 1日目講義終了後)

**場所**：ザ・セレクトン福島 本館3階「吾妻」

**会費**：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。  
 ※この交流会は会費制です。  
 ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。  
 ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。  
 ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。  
 ※服装については特に問いません。



### 【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官 森久保 司 講師
- ・国土交通省水管理・国土保全局防災課 課長補佐 山崎 航 講師
- ・国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 所長 小浪 尊宏 講師
- ・熊本県土木部河川港湾局河川課 晋議員 谷水 秀行 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)  
 ※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
 TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名  
(特別・賛助会員名、会社名)

第657回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）申込書

<個人情報の取扱いについて>  
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
							10月 29日	30日	31日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,740円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,648円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,037円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く)						現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※	宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。  禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。			
<b>現場研修料</b> 名×7,600円＝ 円										
計						円				

【お申込み時の注意について】

↓全建に振込

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,037円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。